

「2016 年秋季研究発表大会」のお知らせ

大会実行委員長 和田義明

2016 年度秋季研究発表大会を開催します。研究発表や講演、討論会を通じたプロジェクト・プログラム・マネジメントの情報交換や創発の場を提供します。皆様のご参加をお待ちしています。

1. 開催日：2016 年 10 月 1 日

9:30～17:30 (予定)

2. 会場：東京農工大学小金井キャンパス工学部講義棟
東京都小金井市中町 2-24-16

3. 大会テーマ：

P2M とソーシャルイノベーション
～公益と場が共存できるビジネスモデルの創出とプログラムマネジメント～

4. 大会趣旨

中国経済の減速に端を発し、世界経済は変調を来たしています。また、価値の変化や多様化が激しく、かつては液晶で世界トップシェアを誇った日本の大手家電メーカーが外国資本の傘下に入るなどの事態が生じています。世界は VUCA (ブーカ : Volatility 不安定、Uncertainty 不確実、Complexity 複雑性、Ambiguity 曖昧性) の時代に入っているという評論もあります。このような時代でも、必ず勝ち組があります。その要素は多岐に亘りますが、一部を挙げると意思決定の速さや新たな価値創造力、時代の先を読む先見性、経営資源の集中などが考えられます。更には、明確なビジョンを掲げ、目標からバックキャストしながら多様な知識や技能、情報を結集してミッションを果たすマ

ネジメントが必要となります。10 年余り前も不確実性が叫ばれ、そこから生ずる問題を解決し、社会ニーズに応えるべく発足したのが本学会であります。激動の現代においては、ますます本学会に求められる役割が高まっています。

本大会においては、各界でプロジェクト・プログラム・マネジメントに取り組む諸氏の情報交換や議論を通して、この時代にあっても成長につがるイノベーションを興すための道筋が拓けることを願っています。

5. 基調講演会

演者：加藤哲夫 (TKO 代表、前ソニーエンジニアリング株式会社社長)

演題：挑戦するマネジメント (仮)

業績が低迷していた会社を再生した経験を通して、イノベーションを興すには、もの作りからユーザーのソリューションまで及ぶソーシャルイノベーションが必要であることを説いて戴きます。この手法は P2M の理論に通じるものがあることが期待できます。

6. 主催：(社) 国際 P2M 学会

7. 研究発表要旨締切：8 月 28 日(日)

研究論文締切 : 9 月 11 日(日)

※参加申し込み先など詳しくは国際 P2M 学会ホームページ「お知らせ」をご覧ください。

http://www.iap2m.org/cgi-bin/info/info_top.cgi